

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23301	薬理学 Pharmacology	野村 裕子	専門	2	選択	1年 前期
<b>科目の概要</b>						
栄養士業務及び医事業務に必要であるばかりでなく、私たちの身近にある「薬」について学び、薬物の生体への作用、薬理効果、代謝経路、副作用など、薬物治療の基礎知識について理解する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 投与された薬物の生体内運命と薬効 ② 医薬品の法律による規制 ③ 各医薬品の作用機序、薬理効果、副作用 ④ 薬物の知識 ⑤			① 薬の作用点の薬物受容体を理解し説明できる ② 医薬品に関する法律を理解し説明できる ③ 薬の作用機序、薬理効果、副作用を理解し説明できる ④ 必要な薬物の知識を身に付けることができる ⑤			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。				
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、いろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	人の意見を聞き、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
野村隆英ら 『シンプル薬理学 [改訂第5版]』 南江堂						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
講義前に講義予定の教科書範囲を予習し、その内容を或る程度把握しておくこと。 講義中に重要と説明された箇所は復習し、知識を身に付ける。			講義資料を配布するので、授業中に加筆して自分のノートを作る。 講義中の私語は他の学生に迷惑なので慎む。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	90	①	✓	医薬品に関する法律を理解する 薬の作用機序、生体内運命などの総論と各薬物の薬理効果、副作用などを理解する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) 課題をするのに、教科書・文献を使って自己学修をする。 (実行力) 困難があっても目標を変更せず到達する。 (課題発見力) 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極める。 (創造力) 物事を考える時に、いろいろな方向から考える。 (発信力) 整理した内容を、的確な文章で表現する。 (傾聴力) 人の意見を聞き、さらに自分の意見を述べる。 (規律性) 私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他		①		試験を受けることができる出席日数は大学の規定に従う。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
薬物の作用機序を理解する。	薬物の薬理効果、副作用を理解する。 専門用語を理解する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	総論:薬理学とは何か 薬と法律	講義 演習:インターネット で検索(携帯可)	医薬品に関する法律を理解する	ドラッグストアに行っ て医薬品表示の復 習	180	創造力 発信力 傾聴力
2週 /	総論:薬理作用、作用機序 薬の生体内運命と薬効	講義	薬の作用機序、薬の作用 点の薬物受容体を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	傾聴力
3週 /	総論:薬物相互作用、薬物 治療に影響する因子、新薬 の開発	講義 演習:インターネット で検索(携帯可)	薬物相互作用を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	創造力 発信力 傾聴力
4週 /	末梢神経作用薬:自律神経 系の基礎知識、コリン作動薬	講義	薬物の薬理効果、副作用 を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	傾聴力
5週 /	末梢神経作用薬:コリン遮断 薬、アドレナリン作動薬	講義 演習	薬物の薬理効果、副作用 を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	創造力 発信力 傾聴力
6週 /	末梢神経作用薬:アドレナリン 遮断薬、自律神経節作用 薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬	講義	薬物の薬理効果、副作用 を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	傾聴力
7週 /	中枢神経作用薬:各種全身 麻酔薬、鎮静睡眠薬、麻薬 性鎮痛薬	講義	薬物の薬理効果、副作用 を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	傾聴力
8週 /	中枢神経作用薬:抗てんかん 薬、向精神薬、抗パーキン ソン病薬	講義	薬物の薬理効果、副作用 を理解	講義予定の教科書 の予習・重要と説明 された箇所の復習	180	傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	心・血管系作用薬:心不全治療薬、狭心症治療薬、抗不整脈薬	講義	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	傾聴力
10週 /	心・血管系作用薬:降圧薬、脂質異常症治療薬、抗血栓治療薬	講義	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	傾聴力
11週 /	解熱鎮痛薬と抗炎症薬、免疫調節薬と免疫療法薬	講義	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	傾聴力
12週 /	糖尿病治療薬、消毒薬	講義 演習:インターネットで検索(携帯可)	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	創造力 発信力 傾聴力
13週 /	抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬	講義	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	傾聴力
14週 /	抗悪性腫瘍薬、気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬	講義	薬物の薬理効果、副作用を理解	講義予定の教科書の予習・重要と説明された箇所の復習	180	傾聴力
15週 /	授業の統括。 質疑応答に参加することで授業内容を整理する。	講義 演習	専門用語、薬物の薬理効果、副作用を理解	重要と説明された箇所の復習	180	創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力